

三沢市立三沢病院での外科実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5年 清水優花

2024年9月2日から9月27日までの1ヶ月外科での実習をさせていただきました。1ヶ月の実習の中で大学病院や他の科での実習では経験できないことを沢山させていただき大変勉強になりました。



回診では抜釘やドレーン交換などを経験させていただきました。抜釘では最初うまくできず患者さんに痛い思いをさせてしまうこともありました。がだんだん上手くできるようになり患者さんに上手だねと言ってもらえて嬉しかったです。また担当の患者さんの主治医として考えると考えなくてはいけないことが沢山あり色々なことを想定する必要があるのだと感じました。手術ではカメラ持ち、縫合、皮切なども経験させていただきました。見学している際には先生方は簡単そうにカメラで見たい視野を出していましたがいざ自分が行うとなるととても難しかったです。また縫合のコツも教えていただき大変参考になりました。これまでの手術の際には今見えているものが何なのかわからないまま漠然と見学してしまうことも多かったです。一つ一つ今何をしているのか解説してくださり理解が深まりました。また先生方が行っていることは常に次は自分が行うかもしれないという意識で見る事が重要だと思いました。そして実際にそれをできる機会は限られているのでシュミレーションしいざやってみてと言ってもらえたときにできるようにしておかなければいけないのだと感じました。救急対応も見学させていただきました。実際に研修医になった際に必要なものを学ばせていただきました。ミニ講義ではCT画像の読み方や血行動態、手術の方法など曖昧だったものをわかりやすく教えていただき大変勉強になりました。

最後になりますが外科の先生方、看護師、管理課の皆様、担当させていただいた患者様に心から感謝申し上げます。三沢病院で学んだことを活かしてより一層勉学に励んでまいります。ありがとうございました。

実習期間：2024.9.2～2024.9.27